

プラズマ量子プロセスユニット 質疑応答

『プラズマ量子プロセスユニット 令和7年度研究成果概要』（村上泉）

『Optical and EUV Measurements: NIFS CoBIT and Tokyo EBIT』（Endre Takacs (NIST)）

『100-joule laser as a probe of Thomson scattering and pump for interdisciplinary research in the Compact Helical Device』（境健太郎）

Q：モデルで光学系のひずみはどうなっているか。

A： ϵ_d : detector efficiency に入っている。

Q：100J レーザーで何ができるか。

A：パルス幅は 15ns であり、レーザー熱源となる。揺動駆動ができればよい。

Q：空間分解は。

A：そのままではできない。ファイバーアレイにより離散化される。イメージング転送すればできる。

Q：bi-Maxwellian はバルクに対し何桁落ちているか比率は。

A：調べていない。

Q：解像度が上がって再現性が落ちてくればどうなるか。

A：突発的現象がコントロールできるなら再現性は可能。定常的に分布がひずんでいるのは考えにくい。イベントトリガなら再現するがランダムなら再現しない。2フレームはとれる。